

第1回林業分科会における主な意見について

参考

No.	意見・要望等
1	主伐と間伐の資料は、民間の分も含めて記載したほうがわかりやすい。
2	C L Tを使って公共建築物の木造化を進めるとのことだが設計できる設計士はいるのか？
3	市有の松林について間伐は必要である。
4	利益の出る林業が大事。神戸大学の黒田先生など意見を聞いてみてはどうか。
5	旧原田加工工場にストックしている丸太について、ボリューム、サイズ、量等知りたい。
6	木の機能や魅力を理解してもらうことが大事。そのために身近に木がある状況をいかにつくれるかを考えていただきたい。公共建築物でも木質化や木材利用を行っていただけたらいいと思う。
7	建築だけでなく、医療、福祉、教育等あらゆる分野の若者が、森と接することで新たな森の使い方ができてくるのではないかと考える。 木材販売だけでなく、観光や福祉等のサービスを開発し、そういう面で人材育成、森の将来像を具体的に考える必要があるのでは。
8	針広混交林に関して、間伐だけでは針広混交林にはならないと考えている。 公益的機能を発揮させるのであれば、自然の再生力も使う施業法がある。
9	各年代の若者に、森づくりに関与する機会が提供されることが重視されており、森と同時に人も育てる観点が必要だと考える。 防災の観点で平常時、災害時、これをセットで人材育成と普段の森づくりを検討いただきたい。
10	市内に3mを超えている桜の木もある。ただ林道がないため行くことが困難。 せっかくある資源を、間伐だけでなく観光資源にする等の方法もあるのでは。
11	公共建築物の木造木質化の推進が市民にも多く触れることができるし、福岡市がイニシアチブをとれば、それを進められると思う。 施策体系案の「主な取り組み」に、公共建築物の木造木質化を入れる検討を。
12	物価上昇など不安定な中、地域やまちを持続可能な社会にするために、近くにある資源を選びそれを活用できる技術を育成していくことが大事だと思う。
13	木材をどう循環させていくのかが大事。伐採する人材の不足や、木材乾燥のノウハウのデータ不足、現在の経済状況の中での工事の進捗に対する不安など、点と点の課題を線で結んで好循環させていくことが大切だと思う。

No.	意見・要望等
14	全体的に、林業経営を強化していくことが大事。環境や防災などの文言を入れていただきたい。 全伐して風化花崗岩となると、災害リスクが高くなる。例えば保持林業のようにスギ林の中の広葉樹の立木を残しながら、混交林として維持していくという考え方等重要になると考える。 多様な針広混交林化、広葉樹林化など市独自のパイロット的な取り組みを増やして欲しい。 環境と防災の観点を入れて、この計画をバージョンアップしていただきたい。
15	境界の明確化について、相続していない人や、相続後場所がわからない人が結構いらっしゃるが何か方法はないかと思っている。いい方法があれば教えていただきたい。
16	文化的サービスを向上させていくことが、トータルの生態系サービスの保全として重要なのでは（公益的機能）。 もっと森へのアクセスを開いて、文化的活動、教育の活動が活発になるような施策メニューを増やすと良いのではないか。
17	郊外への施策が不足していると感じている。 森、里における文化政策を福岡市として、本気で取り組む時期であると考えている。
18	資料3の福岡グリーンネクストに「基本方針」があり、次期計画の施策体系案の中にも「基本方針」があるため、ワードがぶつかり合っていると感じる。意図的に、されているのか。 また基本方針が、今回は3つに増えている。花粉発生源対策の推進は一つ立てるほど重要なもののなのか。
19	オリジナリティーのあるより具体的な福岡ならではの特徴のある政策体系をぜひ考えて欲しい。 多様な森づくりの仕方、いわば天然力を活用して行うことが重要であり、次回以降、いろいろな意見をさせていただきたい。